

# 扁桃周囲膿瘍

## 原因と症状

- ・急性扁桃炎に続発し、口蓋扁桃(こうがいへんとう)の周囲に炎症が及ぶことで起こり、成人男性に多く見られます。
- ・扁桃に生じた急性炎症が扁桃の被膜を破って外に広がり扁桃周囲炎となり、そこに膿が溜まり膿瘍を形成すると考えられています。
- ・のどの炎症に引き続いて発症し、激しい咽頭痛が特徴です。
- ・通常は片側だけですが、症状が悪化すると耳にも痛みが広がり、口を開けにくくなることもあります。
- ・ものを飲み込むときの痛みも強く、唾液(だえき)を飲むことも困難になると、よだれをたらすという状態になります。
- ・全身的には、高熱を伴い全身倦怠感も高度で、経口摂取がほとんどできなくなると脱水状態となりますので、注意が必要です。

## 治療

- ・扁桃周囲炎の場合は、抗生剤を主体とした保存療法が選択されます。
- ・扁桃周囲膿瘍では、保存的治療はもちろんですが、膿汁の排泄を目的にした治療が有効です。
- ・膿汁の排泄には、膿瘍の場所や程度を考慮して、注射針で穿刺吸引する場合と、局所麻酔後にメスで1から2cm程度を切開する場合があります。
- ・外科処置に加えて、点滴注射により抗生剤を投与に加えて脱水の改善を図ります。

## 急患診療センターを受診するめやす

- ・痛みが強く、発熱もあり、食事ができない、口が開かないなどの場合は、急患診療センターを受診してください。
- ・急患診療センターを受診したあとも、必ず近くの耳鼻科を受診してください。
- ・ただし耳鼻科外来は日曜、祝日、GW、年末年始の昼間(9:00~18:00)のみで、その他は内科や小児科での診察となることもあります。
- ・のどの腫れが強く、呼吸が苦しくなるようであれば、市民病院か大学病院に相談するか救急車を呼んでください。

新潟市急患診療センター (電話025-246-1199)

<http://www.niigata-er.org>